

# F-REIの最近の動き

## (令和7年11月)

---

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き（令和7年4月～）」から令和7年11月分を浪江町役場で抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。  
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

# 令和7年11月1日（土）～2日（日） F-REI国際シンポジウムを開催

11月1日～2日、F-REI国際シンポジウム  
“Collection and Dissemination of Data  
and Knowledge Related to Nuclear  
Disaster Resilience and Science”を福島  
県楢葉町で開催しました。

本シンポジウムでは、「原子力災害に関するデータや知見の集積・発信」分野に関する国内の大学・研究機関に加え、原子力災害医療科学分野に関わるICRP、IAEAといった国際機関・国際委員会の関係者が集結し、F-REIとの連携等について協議しました。

当日は、現地・オンライン合わせて100名以上の方にご参加いただき、大変盛況となりました。

※本シンポジウムの運営は、長崎大学に委託して実施しました。



# 令和7年11月4日（火）～5日（水） 英國原子力公社（UKAEA）と廃炉ロボット技術に 関するワークショップを開催

11月4日～5日、英國原子力公社  
(United Kingdom Atomic Energy Authority, UKAEA) と廃炉ロボット技術  
に関するワークショップを東京にて開催しました。

本ワークショップでは、UKAEAから廃炉ロボット技術の研究事例や社会的インパクトに関する取組などがプレゼンテーションされ、F-REIロボット分野の研究者、及び東京電力ホールディングスや日本原子力研究開発機構などの日本国内の廃炉に関わる企業、有識者と多岐にわたる意見交換が行われました。

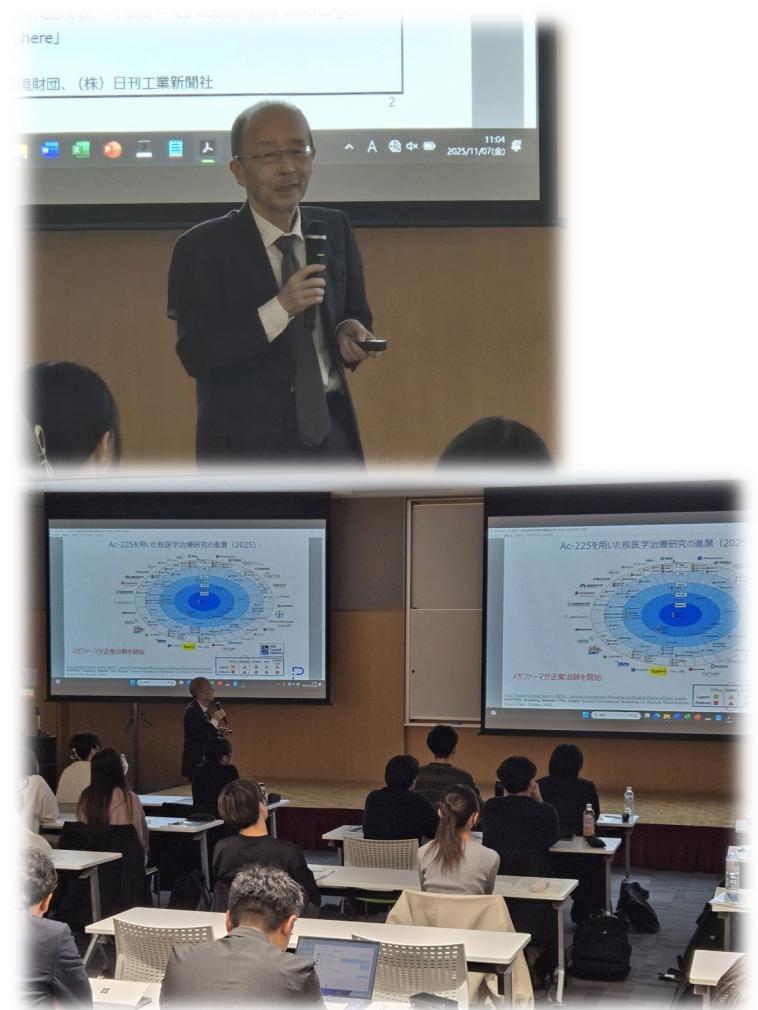


# 令和7年11月7日（金） F-REIトップセミナー（福島県立医科大学）を開催

11月7日、福島県立医科大学保健科学部の3年生約25名を対象にF-REIトップセミナーを行いました。

F-REI放射線科学・創薬医療分野（第4分野）の茅野政道副分野長が講師を務め、「放射線科学の現状と展望」の講演題目のもと、放射線・放射性物質の医療への貢献や現在注目されている技術の紹介、F-REI第4分野の今後の展望について講演を行いました。

参加した学生にとって、自身の研究や進路と関連付けて、放射線・放射性物質の医療について考える機会になった様子でした。



# 令和7年11月22日（土）、29日（土） 「おしごと図鑑をつくろう！－水素タウン編－」を開催

11月22日、29日、「おしごと図鑑をつくろう！-水素タウン編-」を開催しました。本イベントは、F-REIが地域の子どもたちとつながり、未来を担う人材の育成を目指す「エフとも」の活動として位置づけ、実施したものです。

今回は、県内（※）の小学3年生～6年生が参加し、1日目には、F-REIの活動紹介やエフともとの取組の説明、浪江町役場の講話、福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）の見学を行いました。2日目には水素実験（燃料電池をつくろう）を行うとともに、F-REIの研究者と交流を深めました。

参加した子どもたちは「水素ってなんだろう？」「F-REIや浪江町のおしごとってなんだろう？」「みんなの暮らしにどのように役に立つかな？」という様々な疑問を見て・作って・学んだうえで、思い思いのおしごと図鑑を完成させました。

※県内：いわき市、南相馬市、広野町、浪江町、郡山市



# 令和7年11月26日（水） エフともカフェ（浪江町）を開催

11月26日、浪江町のSTUDIO B-6にて、人材育成や地域づくりを目的とした対話の場「エフともカフェ」を開催しました。

当日は、浪江町周辺地域の皆さんにご参加いただき、STUDIO B-6を拠点に活動されている方々から日頃の取組をご紹介いただくとともに、「これからの地域づくり」をテーマに語り合いました。

質疑応答の時間には、参加者同士で意見を交わす場面もあり、会場は終始和やかで温かい雰囲気に包まれていました。



# 令和7年11月26日（水） 出前授業（安積黎明高等学校）を開催

11月26日、安積黎明高等学校の1、2年生約560名を対象として、出前授業を開催しました。

今回の出前授業は、同校の「課題探究シンポジウム 社会の諸課題に目を向ける～みんなで創る、みんなで生きる～」の一部として実施したもので、「共生社会」のテーマのもと、F-REIを含めた4機関の講師からそれぞれの分野についての講演を行いました。

F-REIからは、地域環境共創ユニットの林誠二ユニットリーダーが講師を務め、「地域と協働した環境回復の取り組みを目指して-放射能の影響と14年の変遷を踏まえて-」の演題のもと、講演を行いました。講演では、原発事故後の放射性物質の現状、より地域に着目した課題とそれに伴う地域住民との取組について説明しました。



# 令和7年11月27日（木） 出前講義（獨協医科大学）を開催

11月27日、獨協医科大学の医学部1年生約130名を対象として、出前講義を実施しました。

大和田祐二執行役が講師を務め、「創造的復興の中核拠点としての福島国際研究教育機構 F-REI」の演題のもと、ご自身の専門分野について、およびF-REIの取組について紹介しました。



# 令和7年11月29日（土） 出張版サイエンスラボを開催

11月29日、福島市のAOZ（アオウゼ）で福島高等学校が主催する「ふくしまサイエンスフェスティバル2025」への出展ブースにて、出張版のサイエンスラボを開催しました。

今回は「観察・実験・発見！マシュマロタワー大作戦！」と題し、限られた材料でできるだけ高いタワーを作るチャレンジを行いました。参加者はタワーが倒れた理由を観察し、「次はどうすればもっと強くなる？」「どこを変えるとうまくいく？」と試し続ける体験を通して、失敗をヒントに工夫を重ねる研究者の考え方につれてもらいました。

当日は、小学生から高校生、保護者の方まで幅広い年代の方が参加し、年齢に関係なく多様なアイデアが生まれました。自由な発想で作り続ける小学生の子どもたちが、思いがけない高いタワーを完成させる場面もあり、参加者同士が互いの工夫に刺激を受けながら取り組む姿がとても印象的でした。





**F-REI**

福島國際研究教育機構